

分子研は創立50周年を迎えます

分子科学研究所は、来年の4月で創立50周年を迎えます。

1975年4月22日に創立され、常に最先端の分子科学の動向を見据えて研究系（現研究領域）、研究センターの設置などの組織改組とともに、実験棟をはじめとする建物や設備の新設更新などの環境整備を行いながら、多くの研究者を迎え、送り出して半世紀が経ちました。分子研のこれまでについては、創立50周年記念特設サイトで簡単にまとめていますので是非ご覧ください (<https://www.ims.ac.jp/50th/>)。

一方で、岡崎国立共同研究機構の創設（1981年）、法人化（2004年）など、研究所を取り巻く状況も大きく変化してきました。

このような様々な状況を経た分子研の50周年という大きな節目にあたり、基金を設立して、記念式典などの事業のほか、共同利用・共同研究の研究環境整備などの研究者支援も実施していくこととしておりますので、所内所外の皆様には、記念事業実施へのご協力とともに基金へのご高配・ご支援をいただければ幸いです。

なお、記念式典は、2025年4月22日（火）に実施予定で、施設見学及び祝賀会も行いますが、詳細については創立50周年記念特設サイトにおいてお知らせいたします。

(分子研創立50周年記念事業事務局 記)



分子研創立50周年モニュメント

50周年記念行事の一環として、3Dプリンタを使用して2種類のモニュメント(A, B)を製作しました。

Aは「分子科学研究所創立50周年記念特設サイト」に表示されている分子模型風の“50”（図1）のモニュメントです。元のBlenderデータより“50”を抜き出して3MLファイルに出力し、構造物としての強度を持たせるために支柱を追加する等の修正を行いSTLファイルに変換後3Dプリンタで造形（図2）しました。

Bはその発展模型として、正面から見ると“50”、側面から見ると“IMS”になるモニュメントです。はじめにそのような見え方になる箱文字のVRMLファイルを作成（図3）し、その中を球と棒で埋めるプログラムをPerl言語にて作成して分子模型風のVRMLファイルを生成（図4）しました。このデータをSTLファイルに変換して造形したモニュメントを図5に示します。図6はモニュメントを正面から見た形状の様子、図7は側面から見た形状の様子です。これらは今年度開催の一般公開で展示を予定しておりますので、ぜひご覧ください。（松尾 純一 記）



図1 分子研50周年記念サイトの“50”



図2 3Dプリンタで造形した“50”



図3 側面:IMS
正面:50の3D形状

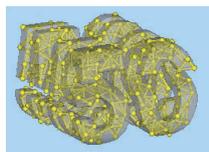


図4 プログラムで
球と棒で埋めた形状

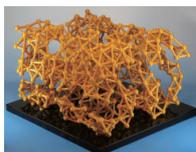


図5 造形した
モニュメント



図6 正面から見た形状



図7 側面から見た形状